

【親なきあとの子供の在宅支援を考える】(南部)

10月27日(日) 13時半より明石市立総合福祉センター 大会議室で

『親なきあとの子供の在宅支援を考える』と題して講演会とシンポジウムを開催します。

始めは、明石市基幹相談支援センター長の後藤謹武様よりお話をいただき、その後、ピアサポーター(ピアボの会より2名)、相談事業所(居場所)、居宅介護事業所(Home Ground ひなた)、訪問看護ステーション(アイズ)の方が参加してのシンポジウムを開催します。

皆様からは、経験談や福祉サービスの利用方法等をお話しいただきます。

参加申し込みをご希望される方は

FAX: 078-912-4455 (10/25〆切) またはメールにてお申込みください。

sakura_koubou6687@car.ocn.ne.jp (明石ともしび会 さくら工房)

ひょうかれん 令和6年度兵家連『地域生活の理解促進事業』のご案内

講師: 明石市基幹相談支援センター 後藤謹武所長 他
『親なきあとの子供の在宅支援を考える』

1. 日時
令和6年10月27日(日)
時間: 13時30分~16時00分(受付13時15分から)
2. 開催場所・定員
明石市総合福祉センター大会議室(山電林崎松江海岸駅から徒歩8分)
定員数 70名
3. 講師 明石市基幹相談支援センター 後藤謹武所長 他
4. 参加費 無料
5. 対象者
こころの病を持つ方、及びそのご家族、支援者、一般の方
6. 研修会の進め方
ピアサポーター、相談事業所、居宅介護(ヘルパー)事業所、訪問看護ステーションの方々からも経験談と各サービスの上手な利用方法をお話しして頂きます。
7. 主催 (公社)兵庫県精神福祉家族会連合会(ひょうかれん)
8. 実施団体 明石ともしび会家族会

★参加申込票★ ※会場に人数制限があり先着順とさせていただきます。(10/25〆切)

参加者名	住所(市・町)	家族会名/所属先の有無	電話番号

申込先(明石ともしび会) FAX: 078-912-4455

メール sakura_koubou6687@car.ocn.ne.jp

内容お問合せ 090-4280-8104(南部)



【親なき後ではなくて、親ある時に出来ることを！】

親として、兄弟姉妹として、こころの病を持つご家族の方が将来一人暮らしをしていくためにどのようなことを準備すべきかを日々悩まれていることと思います。

本来なら、20代~30代で独立していく子ども、兄弟姉妹が、こころの病のためになかなか一人暮らしが出来ない場合があります。

最近ではこころの病を持っていても、様々な機関と相談して、福祉サービスを活用することにより、一人暮らしをしつつ自分なりの生活を続けていけているケースがあります。

今回は、兵庫県が相談支援事業所と協力して作成した、ひとり暮らしを始めるようになった方々を取材した動画を紹介します。

そして、講師自身が相談支援を通して、ひとり暮らしを始められた方々から聴取した内容を紹介しながら、様々な福祉サービスやその他の民間のサービスの活用方法についてお話します。

私達の生活は調子が悪いから、一人暮らしなんて、できるのだろうか?



講師: 明石市基幹相談支援センター長
後藤謹武様のプロフィール

社会福祉士 精神保健福祉士

明石市基幹相談支援センターの活動の一環として、精神障害者に関する学校や自治会向けの福祉学習資料を最近作成され、地域への精神障害者への理解促進活動を続けられています。



編集後記

10月に入り、やっと少し秋らしくなってきたのではないのでしょうか。振り返るととても暑い9月でしたね。涼しくなって過ごしやすくなりましたね。読書の秋、スポーツの秋、音楽や芸術鑑賞の秋、食欲の秋。お祭りやイベントなどもあちらこちらで開催されるようです。自分が楽しめそうなことを見つけられるといいですね(南部)

